

- 日時 令和元年10月25日(金) 14:10~16:40
- 出席者 会長(学識経験者)、副会長(高大連携大学)、保護者代表、
地域住民代表者、その他学校関係団体代表者、事務局(校長、教頭、事務長、
首席、教育部長、教務部長、進路指導部長、生徒指導部長)
- 内容
- 1 校長挨拶
 - 2 会長挨拶
 - 3 学校報告
 - ア) 学校運営協議会への意見書の提出
令和元年6月14日より令和元年10月24日まで なし
 - イ) 修学旅行について(第2学年) 12期生北海道修学旅行報告
 - ウ) 教育部活動報告 異文化交流・外部連携・図書室運営
 - エ) 教務部 令和2年度使用教科書選定・採択報告
 - オ) 進路指導部 11期生進路中間報告
 - カ) 生徒指導部 遅刻数統計・挨拶・いじめ・マナー
 - キ) その他 授業アンケート

<質疑応答・意見交換> ○は委員からのコメント ⇒は事務局のコメント

***授業について**

○多くの授業を見学することができて、雰囲気がよくわかった。生徒の名前を呼ぶ際、教員によって「さん」「くん」「呼び捨て」など様々だった。企業では「さん」で統一するような動きもある。小学校でもそのような動きになっていると聞いているが、千里青雲ではどのような状況か?

○LGBTへの配慮など、社会においては「さん」付けで統一する雰囲気が出てきている。生徒はひとりの人格として見るべきであり、企業の事例なども参考にしていきたい。

⇒「さん」で統一している教員も一定数おり、教員の間でも浸透しつつあるが、まだ不十分である。今後啓発を図りたい。

○教室によって暑いと感じた。学習環境の整備上、どのように考えているか?

⇒扇風機は一部の教室のみで稼働している。エアコンの稼働時期は9月までで、10月以降は一定の条件を満たせば学校判断で稼働可能。ただ、機器が老朽化しており、教室を十分に涼しくすることができていない。向こう3年間の設備更新計画により、順次新しい機器に更新される予定であるので、ご理解いただきたい。

***地域連携・広報について**

○造形関係の授業を興味深く拝見したが、せっかく作った作品であるので、校内での展示など、広く見てもらえる機会があればよいと思う。

○特色ある授業の作品など、取組みの成果を地域に発信する機会を設けてほしい。

⇒美術や書道の作品については、これまでから校内において様々な場所(渡り廊下・階段踊り場等)を活用して展示に努めている。加えて、例えば公民館を活用するなど、校内のみならず広く市民の皆さんに見ていただけるような機会を作ってほしいとの要望もいただいている。地域連携の観点からも、そのような機会を今後も積極的に作っていきたいと考えている。

*ICT環境の整備について

○近年大学では、教員を志す学生に対し、パワーポイントなどICT機器を活用した授業の実践を推奨している。ICT機器活用に関する学生の意欲も高まってきているが、学校現場において機器整備や活用の状況はどうか？

⇒多くの教室に投影用スクリーンが設置されているが、未設置のところもあり、移動式スクリーン持参により対応している。普通教室にプロジェクターは未設置であるが、共用のものを数台常備しており、その都度教室に持参して使用している。活用状況については、教材作成や機器の操作に慣れている教員と、そうでない教員との格差がある。校内で研修を実施するなど、今後積極的な活用と普及に努めたい。

*新テスト（大学入学共通テスト）に向けて

○英語4技能の力を測る外部試験の活用や、記述式問題の導入など、従来からの変更点について生徒や保護者に伝えているところ。英語リスニングの練習や多くの文章を読ませる取組みなど、始業前の時間を活用して実施している。また、英語4技能の力を測ることについては、進路指導部と英語科が協力し、GTECを活用するなどの取組みをおこなっている。進路指導を取り巻く情報量が膨大であるので、収集した情報を整理し、教員・生徒・保護者の間で共有化することが重要である。

*校務分掌について

○クラス数減による教員定数減に伴い、分掌組織を改編する必要があるとのことだが、これまで学校が担ってきた業務が改編後も円滑におこなわれるか懸念している。

⇒分掌組織の改編によって、業務が縮小されることはない。従来からの業務を、分掌だけではなく委員会組織や管理職も含め、学校全体でいかに効率よく運営するかという観点で考えなくてはならない。

*修学旅行について

○台風が発生した場合など、どのように対応するのか？

⇒現地到着後は、予め計画した雨天メニューにより対応可能。出発・帰着の航空便が欠航した場合は、日程変更により対応せざるを得ない。

*遅刻について

○3年生の9月遅刻件数が非常に多い。

⇒単なる怠惰によるものとは限らず、不登校傾向や、体調不良など身体的事情によるものもある。様々な生徒がいることはご理解いただきたい。ただ、受験を優先するあまり遅刻が許されるような雰囲気は良くないと考えている。生徒が付けるべき力を育むために、担任によるクラス作りも重要である。

*挨拶・生徒指導について

○校長が毎朝正門で挨拶に立っておられるが、他の教員の状況はどうか？

⇒担任クラスの対応や正門以外の場所での指導など様々である。勤務時間外であり、当番として全教員による体制が組みにくい部分もある。しかし大切なことは、すべての教員が、どんな場所であっても積極的に挨拶を励行することであり、そのことが学校の良い雰囲気作りに繋がると考えている。

○教員が積極的に挨拶をするのは大事なこと。大人の気持ちは生徒たちに伝わるものである。近年のケータイ依存の問題も大きい。依存度が高いと、他のことに関心が向かなくなってしまう。保護者との協力も大切かと考えるが、遅刻の問題も含め、今後の対策をどのように考えているか？

⇒生徒指導は総じて強制的におこなうものではなく、説得による納得、生徒の主体的な取組みに繋がるのが重要である。ルールを守る力よりも、ルールを自ら作り、主体的に考える力を育むことが大切だと考える。

*授業アンケートについて

○教員の振り返りシートをどのように活用しているか？

⇒教員の振り返りによる授業改善に活用している。授業観察時には、改善のポイントを考えるための参考にもなり、コミュニケーションを図ることができる。